

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年5月31日 (2018.5.31)

【公表番号】特表2018-506851(P2018-506851A)
 【公表日】平成30年3月8日 (2018.3.8)
 【年通号数】公開・登録公報2018-009
 【出願番号】特願2017-537933(P2017-537933)
 【国際特許分類】

H 0 5 K 5/02 (2006.01)
 C 0 3 C 3/087 (2006.01)
 C 0 3 C 17/30 (2006.01)
 C 0 3 C 17/23 (2006.01)
 C 0 3 C 19/00 (2006.01)
 H 0 1 Q 1/42 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 5/02 J
 C 0 3 C 3/087
 C 0 3 C 17/30 A
 C 0 3 C 17/23
 C 0 3 C 19/00 A
 H 0 1 Q 1/42

【手続補正書】
 【提出日】平成30年4月4日 (2018.4.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

電子装置筐体であって、

防指紋表面を有する基体であって、前記防指紋表面に指紋を付着させたとき、前記防指紋表面が、約 0.95 未満の視認性、及び約 2.0 未満の色ずれのいずれか一方又は両方を示す基体を備え、

0.03 未満の損失正接及び 1.5 MHz ~ 3.0 GHz の周波数範囲によって定義される、無線及びマイクロ波周波数透明性、

磁場透明性、

誘導場透明性、及び

赤外線透明性

のいずれか 1 つ以上を示すことを特徴とする筐体。

【請求項 2】

0.60 MPa・m^{1/2} より大きい破壊靱性、

350 MPa より大きい 4 点曲げ強度、

少なくとも 450 kgf/mm² (約 4.4 GPa) のビッカース硬さ、

少なくとも 5 kgf (約 49 N) のビッカース中央 / 放射亀裂開始閾値、

約 50 GPa ~ 約 100 GPa の範囲のヤング率、及び

2.0 W/m 未満の熱伝導率

のいずれか 1 つ以上を示すことを特徴とする、請求項 1 記載の電子装置筐体

【請求項 3】

前記防指紋表面が、テクスチャ表面、被膜表面、又はこれ等の組合せを含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 記載の電子装置筐体。

【請求項 4】

前記テクスチャ表面が、

約 0.05 マイクロメートル～約 10 マイクロメートルの RMS 粗さ高さ、及び

約 0.1 マイクロメートル～約 500 マイクロメートルの範囲の横方向の空間的周期のいずれか一方又は両方を有することを特徴とする、請求項 3 記載の電子装置筐体。

【請求項 5】

約 0.5%～約 40%の範囲のヘイズを更に示すことを特徴とする、請求項 1～4 いずれか 1 項記載の電子装置筐体。

【請求項 6】

約 400 nm～約 750 nmの波長範囲にわたり、又は約 750 nm～約 2000 nmの波長範囲にわたり、約 80%以上の平均透過率を示すことを特徴とする、請求項 1～5 いずれか 1 項記載の電子装置筐体。

【請求項 7】

前記基体が、ソーダ石灰ガラス、アルカリアルミノシリケートガラス、アルカリ含有ホウケイ酸ガラス、及びアルカリアルミノホウケイ酸ガラスのいずれか 1 つを含むことを特徴とする、請求項 1～6 いずれか 1 項記載の電子装置筐体。

【請求項 8】

前記非晶質基体が、強化され、

20 μ m以上の層深さ(DOL)を有する圧縮表面層、

400 MPaより大きい圧縮応力、及び

20 MPaより大きい中央張力

のいずれか 1 つ以上を有することを特徴とする、請求項 7 記載の電子装置筐体。

【請求項 9】

前記基体が、強化ガラスセラミック基体、非強化ガラスセラミック基体、又は単結晶基体を含むことを特徴とする、請求項 1～6 記載の電子装置筐体。

【請求項 10】

携帯電話、タブレット、ラップトップ、及びメディアプレーヤーから選択される電子装置を更に備えたことを特徴とする、請求項 1～9 いずれか 1 項記載の電子装置筐体。